

3月19日の本部実行委員会で相談した結果、苦渋の決断をしましたのでお知らせします。

1) 5月21、22日のカプセル設置・回収日程は延期します。

現在、新型コロナウイルスの感染状況が未だピークを迎えたとはいえ、今後の判断が難しいため、いったん延期としました。なお、延期の期間は数ヶ月(1~2ヶ月)と考えますが、具体的な期日については、4月15日開催の本部実行委員会で決めることにします。

2) 3月29日の実行委員会総会(阿倍野区民センター)は延期します。

1)の事由のため延期とします。延期後の日程・場所などは後日決まり次第連絡します。

☆なお、当日の阿倍野区民センター集会室1は、そのまま確保しています。地域担当者様や団体様で個別に相談があれば、事務局は当日の午前10時~と、午後2時~、対応いたします。

3) 4月29日の「カプセルろ紙入れ一斉作業」は中止します。

「カプセル一斉ろ紙入れ作業(民医連会議室)」は、多人数が一つの部屋に集まり、近距離での作業となるため、感染予防の観点から中止とします。なお、この作業は一斉作業方式ではなく、少人数単位での方式をとって実施し、カプセルの受け渡し方法も見直します。詳細は後日連絡します。

地域実行委員会づくりやカプセル準備について、可能な範囲・条件で進んでいます。

●北河内では、3月20日と3月22日の休日に、ソラダス本部事務局の主催で、学習・交流会を2回に分けて、守口市と、寝屋川市で行いました。地区労連が呼びかけ人となり、7市の地域労連、新婦人、民商、生健会、年金者組合、共産党などからそれぞれの代表者が参加されました。特にメッシュごとの設置担当者の決め方や、記録表の使い方などを話し合いました。ちょうど「5月21、22日の設置を延期する」との情報が知らされましたが、ソラダス自体はどのみちやることなので、今後も準備をすすめて、今後は一般参加者へも広くよびかけていくとのことです。

●消費者生協では、多数のカプセルを広い地域に配布するので、月に一回の定例会合の機会に手渡しします。その制約から「カプセルを早くほしい」となり、この18日に作業担当者2人をなくす会事務所へ派遣してもらい、「カプセルへのろ紙入れ作業」を4人で行い、無事1060個が用意できました。

※なお、新型コロナウイルスへの対応は、行政からの情報をしっかりと把握し、感染症流行や自ら被患者にならないように、お互いに注意していきましょう。相談会では、密閉空間をつくらず、濃厚接触を避け、咳エチケットなどを励行しましょう。